

こんにちは!!
市長です

Vol.51

「フードドライブ」

1月25日から3日間、市役所本庁舎市民ホールで「フードドライブ」を行いました。

フードドライブとは、家庭や職場などで余った食品を持ち寄り、必要な人へ寄附する運動のことです。

「食品ロス0!!」へ向け、市

が昨年制定した、『もったいない条例』に基づいて具体化した施策の一つです。

受け付け開始と同時に、多くの市民の皆さんから、お米やお菓子、カップ麺など、たくさんのお食品を提供していただきました。市も、防災備蓄品で消費期限が近い液体ミルクや缶詰パンなどを提供しました。集められた食品は、NPO法人を通じて地域の福祉施設や子ども食堂などへ届けられます。

統計によると、国内では、年間600万トンの食品ロスが発生しています。日本人は、毎日1人お茶碗1杯分のご飯を捨てていることになるそうです。一方で、世界では、6人に1人の子どもが、貧困で食事に困っているといわれています。

令和元年度の渋川市民1人当たりのごみ排出量は、年間約1・1キログラムで、12市中2番目に多くなっています。食品ロスを含むごみの焼却により発生する二酸化炭素は、地球温暖化の大きな要因の一つです。今一度皆で食品ロスについて考え、自分にできることから行動を起こしましょう。

フードドライブを通し、「もったいないの心」を持った社会の輪が広がるといいですね。



▶提供いただいたお米を手に